

# ひろがれっど

【ひろがれ、かさなれ、むさしののわ】

2016  
第 34 号



特集

## すべての 子どもが 育ち合う場

みどりのこども館  
あそぼうティーを通して

● ハピネス

武藏野市内産の夏野菜を  
いただきました！

● ワンポイントアドバイス

お団子は健康の入口です

● 福々刻々

共生する社会へ  
～相模原事件を越えて～





# 合う場

通して

「遊び」は子どもが自ら行動する力を育み、子どもは遊びの中で育っていきます。乳幼児期の保育や教育に関するこの基本的な考え方を、「あそぼうデー」ではすばりテーマとして、子どもたちの好奇心や探求心がくすぐられるような様々な活動を用意し、子どもたちが自ら楽しさを発見できるような環境を整えています。この特集では、あそぼうデー当日の様子を紹介しながら、子どもの育ちや子育てについて考えてみたいと思います。

※表紙写真：あそぼうデー・寒天遊びの様子



今年は7月8日に開催。  
278名の親子が来場しました！



食堂でパールブーケのパン販売、大盛況です

小さな劇場のような空間をつくり、3施設のスタッフ協働で歌やクイズ、パネルシアターの出し物を行いました。見て、聞いて、感じて楽しむコーナーとして、15分ずつ全部で7回の公演をし、冒頭ではこども館の3つの事業をご紹介しています。

0歳～6歳までの子どもたちが、それぞれに楽しみを見つけられるようにとつくった内容です。



感触遊びとボールプールを用意しました。感触遊びの素材は、新聞紙・布・風船・片栗粉など。その中でも人気の高い寒天と春雨を使って、直接触れて感触を楽しんだり、カップやお皿などを使って見立て遊びをしたりしました。

武蔵野市立みどりのこども館は2009（平成21）年に子どもの発達や保護者の子育てを支援することを目的に開館しました。

①自由に来所し、親子で遊べる「おもちゃのぐるりん」

②発達に関する相談をお受けする「地域療育相談室ハビット」

③発達に気がかりなことがあるお子さんの通園「こども発達支援室ウイズ」

3つの事業が、緑町都営住宅第3団地8号棟の1階に同居しています。

開館から8年間、こども館は多くの方々に支えられ、市内の療育の拠点としてその役割を果たしてきました。

## ・あそぼうデーで遊ぼう

あそぼうデーは今年で7回目になるイベントです。当初は地域の子ども（未就学）が集まり自由に遊べるおまつりにしよう!ということでおそぼうデー」と名づけて始まった館の地域開放の意味合いが強い行事でした。回を重ねていくうち、地域のお子さんと保護者にそれぞれの事業所が普段行ってる活動を紹介し体験していただくこ

・こども館ってこんなところ



## 特集

# すべての子どもが育ち

★みどりのこども館あそぼうデーを



鈴のついた紙コップに、シールを貼ったり、クレヨンでお絵かきをして、風鈴をつくりました。おもちゃで遊べるコーナーも、子どもたちに大人気でした。

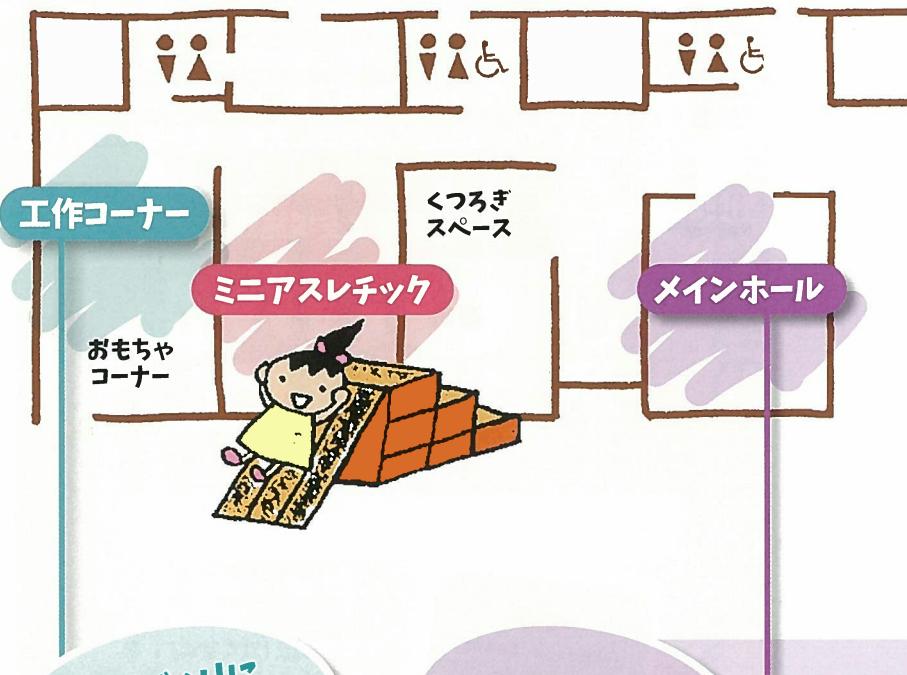
普段「ぐるりん」では、おもちゃの貸出しゃおもちゃの修理、手づくりおもちゃの会などのイベントも行っています。



シール貼りやおえかまで、リンリン風鈴完成

### ・これかっ

少子化が徐々に進行するこの社会において、子どもたちがその笑顔を輝かせながら自分らしく成長していくこと、保護者が自らのライフスタイルを大切にしながら子育てに前向きに取り組んでいくこと、この両者がよりよく進むことを願いながら、あそぼうデーを含むこども館の事業を展開していきたいと思います。



風鈴づくりに  
挑戦!  
工作コーナー

どんなお話かな?  
メインホール

### ルシアター

アイアイ♪のおさるさんに釘付け



とで、みどりのこども館がどのような場所かを知っていたらことを第一の目的にするようになりました。

こども館に来たことのある方も広い館内を端から端までまわってみたり、3つの事業で行っている楽しい遊びを1日で体験したりする機会はこの日しかありません。加えて、あそぼうデー

当日は、普段以上に未就学のお子さんでも安心して楽しめる環境に配慮をして会場づくりをします。今ではこの日を指折り数えて待っていてくれるお子さんも増え、保護者の方々もりラックスして過ごされている様子を見ると、職員もやってよかったです！ という思いになります。



# 子育て支援とは？



一般的に子育て支援を行う様々な施設では、それぞれの特色を出しながら以下のような事業に取り組んでいます。みどりのこども館においては、3つの事業が武蔵野市の中でその役割の一端を担っていますが、なかでもウィズとハビットはより発達へのサポートに特化して、子育ての支援を行っています。

子育て支援施設は、子どもが過ごす、遊ぶ、育ち合う場という側面だけではなく、保護者とその子育てを地域全体で支える場もあります。

子どもの育ちや子育てについて、何か知りたいことがあれば、子育て支援を行っているお近くの施設に気軽に足を運んでみてはいかがでしょうか？

## 子育て支援施設

- 遊び
- 集い
- 学び
- 相談
- リフレッシュ
- など

## みどりのこども館では

スタッフが依頼を受けて、他の子育て支援施設にて子育てに関するテーマ（例えば「イヤイヤ期について」等）で、保護者の方へ向けてお話しすることもあります。

こども館の3つの  
事業所のスタッフです



## 子育て支援施設について、さらに知りたい



武蔵野市からの情報（市報やホームページ、または子育て支援情報誌「すくすく」）をご覧ください。

### info.

- ・おもちゃのぐるりん TEL : 0422-37-2016
- ・地域療育相談室ハビット TEL : 0422-55-8510
- ・こども発達支援室ウィズ TEL : 0422-54-5162

※ウィズの利用申し込みに関してはハビットまでお問い合わせください。

お気軽にご連絡ください！

## あそぼうデーの感想

参加されたお母さんたちに  
お聞きしました！



小さな頃から子どもの  
ことを知ってる職員さん  
と、子どもの成長をこの  
場で確認することができ  
てよかったです。



年1回のおまつりに来ら  
れて、職員さんたちに  
会えていたけど、小学  
生になると来られなくな  
るのがやみしいです…。



家庭ではこんなに好  
きなようにやらせて  
あげられないから、  
思い切り遊べて嬉  
いです。

こども館玄関にある壁のイラストの一部です

## 武藏野市内産の夏野菜をいただきました！



夏野菜品評会での展示の様子

平成28年7月4日に、武藏野市役所から新鮮な夏野菜を当法人へ寄付していただきました。武藏野市役所で同日に行われた夏野菜の品評会「立毛品評会」で展示されていた野菜です。トマト、枝豆、ナス、きゅうり、トウモロコシを分けていただけたのですが、どれも武藏野市内産で、品評会で優秀な成績をおさめた野菜でした。

当法人の「武藏野障害者総合センター」と「トゞじも発達支援室ウイズ」



夏野菜の即売会は大盛況でした

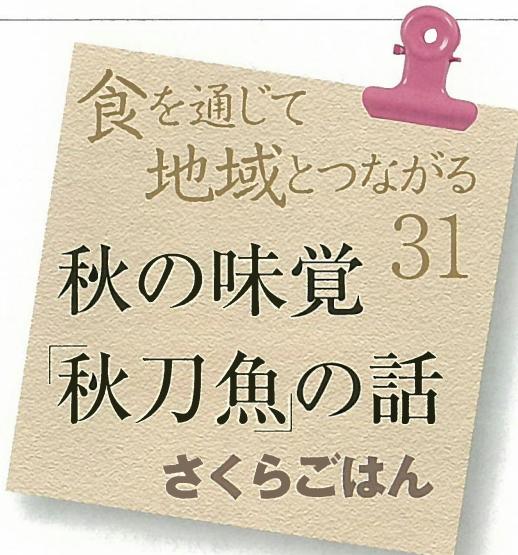
(法人本部事務局 石田 真緒)

て使わせていただきました。献立のマリネやサラダに夏野菜が加わることでとても夏らしい色鮮やかな給食になり、ご利用者と職員でおいしくいただきました。素敵な夏野菜をありがとうございました。

また、武藏野市役所では品評会と同じJA東京むさしによる夏野菜の即売会も催され、夏野菜をお求めになる市民の皆様で大盛況でした。

「秋刀魚」には、血液の流れをよくするといわれるエイコサペントエノ酸が含まれており、脳梗塞・心筋梗塞などの病気を予防する効果があるとされています。また、ドコサヘキサエン酸も豊富に含まれており、体内の悪玉コレステロール(「コレ」)を減らす作用、脳細胞を活性化させ、頭の回転をよくする効果もあるとされています。

そんな「秋刀魚」ですが今年の初セリは今までになじ高値がつき、なんと、キロ当たり2万の000円にもなりま



秋刀魚の開き 干してさらに凝縮した味に

\*次号は七福を紹介します。

期間中お食事をされた方にお好きな小鉢一品をお付けします。左下のチケットをお持ちください。

ワ  
ン  
ポ  
イ  
ント  
ア  
ド  
バ  
イ  
ス

## お口は健康の入口です



誤嚥性肺炎は、本来、食道へ飲み込む（嚥下）べきところ、誤って気管の方に流れて生じる肺炎です（嚥下の仕組みと誤嚥については図1・図2を参照）。細菌が引き起こす肺炎で、肺機能が低下し、死に至ることもあります。今や肺炎は、ガン・心疾患に続いて日本人の死因の3位になりました。特に、体力や筋力の低下が著しいお年寄りや、器質的に気道のフタが正しくできない方、フタをするタイミングが遅れる運動機能の低下の方に、多く見受けられます。

お口の中が不潔でブラーク（細菌の塊）が見られる状態だと、食物や唾液と一緒に多量の細菌が入ります。それを誤嚥したくはないですよね。清潔に保つにはお口の中全体を掃除しなければなりません。

歯の全面、歯と歯の間、歯と歯ぐきの境、頬や口びるの粘膜、舌の表面、入れ歯を使われている方はそれも清潔にしなければなりません。口の中で汚れやすい場所と正しい歯磨きの方法を図3・図4に示しました。日々のケアは大切ですが、定期的に歯科医師・歯科衛生士によるプロフェッショナルクリーニングを受けたり、虫歯を治しておくことをお薦めいたします。

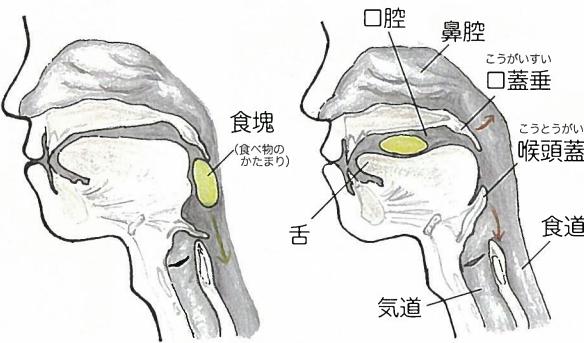
ゆとりえ協力歯科医 森 伸浩

図2／誤嚥（食べ物やだ液が気管に入ること）



食べ物や飲み物を飲み込む動作を「嚥下」、この動作が正しく働かないことを「嚥下障害」といいます。食べ物や飲み物、胃液などが誤って気管や気管支内に入ることを「誤嚥」といいます。「誤嚥性肺炎」は細菌が唾液や胃液と共に肺に流れ込んで生じる肺炎です。

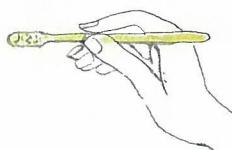
図1／嚥下（飲み込む）仕組み



咀しゃく（かむこと）して飲み込むタイミングに合わせて、口蓋垂が上がって、鼻腔にふたをします。また、喉頭蓋が下がり、気道にふたをすることで気道に食べ物などが入る誤嚥を防ぐことができます。加齢や病気に伴い、タイミングが遅れてしまうことがあります（嚥下障害）。

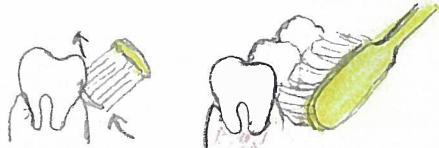
図4／歯みがきの基本

### ●持ち方



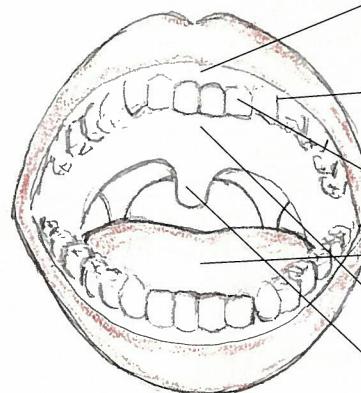
えんぴつ持ち。適度な力で磨けます。

### ●動かし方



歯と歯茎の間、歯と歯の間にあて、小刻みに動かします。

図3／口の中で汚れやすい所



**1位** 口腔前庭部（唇及び頬と歯茎の間）

**2位** 齒間部（歯と歯の間、歯と歯茎の間）

**3位** 齒の表面

**4位** 舌

**5位** 口蓋（上あご）

**6位** 軟口蓋（上あごの奥、のどちんこのあたり）

# えすぶれつそ

ちょっとひといき♪ 心がほっと温まるスタッフの日常をお届け♪

## その人らしい

## 生活を 支えるために

桜堤ケアハウスディサービスセンター  
鈴木田 淳



利用者の方と過ごすひと時

います。

利用者はケガや病気の後遺症で介護が必要となって「デイサービスを利用していますが、生活に不自由を感じながらも、自分のしたいこと、自分らしくありたいことを求めています。その生活も含めて支援していくのが、主体性の尊重だと思います。

私は、15年ほど「デイサービスセンター」の相談員の仕事に就いていますが、当事者の主体性を尊重した支援を大切にするため、相手の人生観や生活習慣、様々な嗜好などを可能な限り聞き出して、支援に反映させるように心がけています。

一人暮らしのAさんは今年の5月に急に体重が減少したため、食事の内容、量などが気になり、自宅を訪問しました。Aさんは元々が食通で、料理の知識も豊富で、食材や味付けにこだわる方でした。また、酒肴のような料理を好み、食事が楽しみになっているのもわかりました。栄養バランスには、やや偏りもありましたが、食生活を尊重して見守ることにしました。

「生活」は一人ひとりの様式や好みが違い、個別性が際立つところです。そこを尊重していく難しさはあります。が、その人らしい生活を送る姿に出会うとき、この仕事で大切なことは何かを再確認させられます。

## 自然体で いられる関係

武藏野福祉作業所  
武田 光正

いま、私は作業支援の他にワークショップ活動を担当しています。4~5名のご利用者が想い想いの創作活動に取り組む時間です。

大変にしているのは、作品の上達ではなく、様々な画材を通してご利用者の感性が素直に表現されることです。

講師のサポートは最小限に、画材を揃

え、選ぶことができるような環境を整えた後は、ご利用者に委ねます。

作品づくりをしながら時々思い出すのは、学生時代のボランティアサークルでのできじです。担当した障害者の方と関係をつくらうと気負っていた新米の私は、先輩から「お互ひが自然体でいられる関係をつくらないと続かないよ」とアドバイスを受けました。

その意味に悩みつつ、少しずつ先輩から言われたことを理解していく、やがて先輩となつた私は、新入生に同じアドバイスをするようになりました。ワークショップでのリラックスした時間に、普段とは違う表情を見せてくださるご利用者の方たち。その感性が素直に表現された作品たち。



ローラーの感触を楽しみながら自由に色を塗っていきます（筆者左）

作業の現場では、フラットな気持ちで一人ひとりと向き合う時間は限られます。でも、お互いに自然体で過ごすことができるワークショップは、その昔、サークル活動で向き合っていたテーマを思い出させてくれる、そんな時間です。

# 福々刻々

## 共生する社会へ

「相模原事件を越えて」

### めまい

2016年7月26日未明に「津久井やまゆり園」で起きた事件は大きな衝撃と試練を我々に与えました。多様性のある社会を希求するこれまでの動きに対し、それを否定するものだったからです。事件後に熊谷晋一郎氏（東大准教授 脳性マヒ後遺症）ら障害当事者が追悼集会を開きましたが（8月6日）、その呼びかけ文には「何十年もかけて踏み固めてきた地盤が大きく揺らぎ『自分たちがこれまでしてきたことは何だったのだろう』という無力感に襲われている」「まるで時計の針が数十年巻き戻されるようなめまいを伴う感情を抱かずにはいられません」とありました。

有用の者と無用の者があるという破壊的な思考、それがもたらす問題をよく考え、回復を試みねばなりません。「すべての人のいのちと尊厳が守られる未来を目指すことを誓うために」（呼びかけ文）力を合わせていくことが必要だと思います。

## 存在感

かつて福祉は「社会復帰に役立ち、社会への見返りが得られる人が対象であり、（重い障害のある）この子らに出す金は『どぶに捨てるようなものだ』と公然と言っていた」と「びわこ学園」の高谷清一（医師（重症心身障害児施設「びわこ学園医療福祉センター」と改称）は書いています（「重い障害を生きるということ」岩波新書2011年）。

そんな頃から我々の先達、そして障害当事者やご家族の方々は渾身の力を振り絞って存在の価値を訴え実践してきました。びわこ学園を開設した糸賀一雄氏は「生まれた生命はどこまでも自己」を主張し自己を実現しようとする」（「福祉の思想」NHKブックス 1968年）と言います。私自身も長く現場で働いてきましたが、障害の重いご利用者とのかかわりの中でその存在感や意思を感じてきました。そして、またご利用者も私の思いを感じてそれに応えるということがあつたと思います。そこにはお互いを認めあい同じ時間を共にする喜びがありました。

豊かな関係は希望につながっていきます。その生きようとする営みはさらに適切な支援があれば自立的な生活へとつながります。支え—支えられながらたどる自立の道は、その本質的な意味において誰もが同じではないかと思います。

嗜虐的な欲望を伴った無法な刃物によって生きることを絶たれてしまった方々の無念を思うと大変辛く、悔しい思いがあります。亡くなられた19名の方々を悼み、心よりご冥福をお祈りいたします。そしてけがをされた方の1日も早い回復を願っております。

## 共生する社会

さて、平成23年に改正された障害者基本法の目的（第一条）には「この法律は、全ての国民が、障害の有無にかかわらず、等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されるものである」と公言していました。理念にのつとり、全ての国民が、障害の有無によつて分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現するため、障害者の自立及び社会参加の支援等のための施策に関し、基本原則を定め、及び国、地方公共団体等の責務を明らかにするとともに、障害者の自立及び社会参加の支援等のための施策の基本となる事項を定めること等により、障害者の自立及び社会参加の支援等のための施策を総合的かつ計画的に推進することを目的とする」（傍線筆者）とあります。

先の熊谷氏は「人と人が依存しあい、連帯できる社会」を模索したいと言います（朝日新聞8月24日）。この言葉を踏まえ、私は社会福祉法人として共生社会の実現に向かう責任を自覚し、新たな福祉社会のあり方を粘り強く追求していくかねばならないと考えます。

（理事長 安藤真洋）

あそぼうデー特集の編集時は、まだまだ夏のように暑く、台風も発生するような陽気でした。極端な気候が増えてきている近年ですが、皆様体調を崩さぬようお気をつけて。（ま）